

カリフォルニアエネルギー委員会 再生可能エネルギーの開発

カリフォルニアエネルギー委員会は、再生可能エネルギー開発を促進し支援する多くの努力に携わっています。これらには、再生可能エネルギー利用割合基準（RPS）のサポート、州の電力会社が電力供給ポートフォリオを消費者に開示すること、新しい一世帯および多世帯の家庭に太陽光発電設備を調達すること、再生可能な省エネルギー計画補助金を地方自治体に配付すること、地熱資源の開発、バイオエネルギー開発の障壁への対応、再生可能な目標への州の進展の追跡などが含まれます。

再生可能エネルギー開発の加速

エネルギー委員会とカリフォルニア州公共事業委員会（CPUC）は共同でRPSプログラムを実施し、すべての公共事業に2030年までに小売上の50%を再生可能な資源からの調達が求められています。エネルギー委員会は、再生可能資源をRPS資格と認定し、RPS目標に向けて請求されるすべての再生可能電力の適格性を検証し、カリフォルニア州の40以上の公的所有電力設備のコンプライアンスを決定する責任を負います。CPUCは、エネルギー委員会によって提供された検証済みの発電データを使用して、投資家が所有する公益事業のRPS遵守を決定し、施行し、RPS適格性に関する再生可能な資源調達計画および契約を承認します。

RPSプログラムの一環として、エネルギー委員会は、西部14州、カナダ2州、Baja California（メキシコ）の電子再生可能エネルギー登録および追跡システムである西部再生可能エネルギー発電情報システム（WREGIS）と密接に連携しています。WREGISのデータと報告書は、カリフォルニア州または他の州で、カリフォルニア州のRPSに請求さ

れた再生可能電力が二重計数されないことを保証するために不可欠です。

消費者への情報提供

また、エネルギー委員会は、RPSに先立つカリフォルニアの電力源開示プログラムの実施も担当しています。1997年に設立されたこのプログラムでは、電気事業者が電力の供給元について顧客に簡単に正確な情報を提供することが求められています。電気事業者は、毎年、燃料ミックスについてエネルギー委員会にデータを提出し、「電力含有量ラベル」（従来の資源および適格な再生可能資源から得られる電力の割合）を提供しなければなりません。すべての電力内容ラベルは、電気事業者の電力構成を比較するために、エネルギー委員会のウェブサイトで利用できます。

新しい家庭での太陽光発電促進

2006年に、議会は、カリフォルニア州で2020年末までに20,000メガワットの太陽光発電システムを家庭や企業に設置するよう促し、再生可能エネルギーを日常的に実現するという目標を設定しました。この法律は、エネルギー委員会の新しいソーラーホームパートナーシッププログラム、CPUCのカリフォルニアソーラープログラム、州の公的所有電力会社によるソーラーインセンティブプログラムの3つのコンポーネントで構成されています。

ニューソーラーホームパートナーシップは、新しい住宅建設に重点を置いています。CPUCのプログラムは、既存の居住用および既存または新規の商業用、農業用、政府用および非営利の建物、太陽熱温水暖房、低所得プログラム、研究開発に重点を置いています。公的に所有されている公益事

業会社は、住宅および商業分野における太陽光発電設備のための様々なリベートプログラムを提供しています。

ニューソーラーホームズパートナーシップの下で、エネルギー委員会は、新しい住宅開発の選択肢としてソーラーを含めるように、建築業者に金銭的インセンティブを与えています。これは、温室効果ガスの排出を削減し、再生可能エネルギーの開発を促進し、ゼロ・エネルギー・ビルを支援し、新しい住宅にソーラーを標準機能にするカリフォルニアの目標に貢献します。

エネルギー委員会の責任の一部には、カリフォルニア州の納税者が資金を提供するすべての太陽光インセンティブプログラムの適格基準の作成が含まれます。エネルギー委員会は、これらの基準を説明するプログラムガイドラインと、州のソーラーインセンティブプログラムの適格基準を満たす広範な機器リストを公表し、更新しています。

地熱資源開発の促進

1980年にエネルギー委員会は、資源探査と評価、実証プロジェクト、地熱エネルギーに関連する地方計画と地区制、地熱開発の悪影響を減らす方法の特定のための地方の管轄地域による研究開発プロジェクトに資金を提供し、後に民間企業を含むように拡大しました。

プログラムを通じて資金提供されるプロジェクトには、学校や病院における暖房と温水設備、蒸気生産を増加させるための廃水による地熱井の再充電、電力生産のための地熱資源の利用可能性の調査プロジェクトが含まれます。

再生可能エネルギー計画

エネルギー委員会は、カリフォルニア州のエネルギーおよび環境政策の目標を促進する再生可能エネルギープロジェクトの計画と許可を支援するための規則と政策を策定する資格を有する郡に助成金を提供しています。これらの助成金は、砂漠再

生可能エネルギー保全計画の下での州の取り組みを支援し、脆弱な砂漠生態系を保護する長期的な天然資源保全地域を開発しながら、再生可能エネルギー開発および伝達回廊に適した地域を特定するのに役立つガイドラインを作成します。

バイオエネルギー開発の障壁への取り組み

州政府機関は、カリフォルニア州のバイオエネルギー行動計画でバイオエネルギーの幅広い利用を促進するための課題と機会を特定に協力しています。エネルギー委員会は、この活動のための重要な技術的および行政的支援を提供します。

再生可能エネルギー開発のトラッキング

エネルギー委員会は、再生可能エネルギーを含むクリーンエネルギー目標を達成するためのカリフォルニアの進捗状況について、四半期ごとに最新情報を提供しています。トラッキング進行状況のWebページには、カリフォルニア州で毎年発生する再生可能電力の量、州内の再生可能発電所の数と種類、エネルギー委員会のライセンス管轄下にある大規模再生可能施設の開発状況、RPSの目標を達成するとともに、12,000メガワットの再生可能な分散型発電を追加するという州の目標を達成しました。

Edmund G. Brown Jr.
Governor

Robert B. Weisenmiller, Ph.D
Chair

Drew Bohan
Executive Director

Commissioners
Karen Douglas, J.D.
David Hochschild
J. Andrew McAllister, Ph.D.
Janea A. Scott, J.D.



CALIFORNIA
ENERGY COMMISSION

energy.ca.gov | facebook.com/CAEnergy | twitter.com/calenergy